

文化財情報研究室（埋蔵文化財センター）

文化財情報研究室では調査員2名からなり、15名の派遣職員の協力を得て、データベースの更新作業をおこなっています。また、さまざまな文化財からいかに有効な情報を引き出し、それをどのように電子化していくかについての研究もおこなっています。その一環として、遺跡に関する情報の統合的分析のために、GIS（地理情報システム）の研究も進めています。

当室で直接に入力作業をしているのは、図書データベース、遺跡データベース、写真データベース、航空写真データベースなどですが、他のデータベース、例えば木簡データベースなどに関しても、設計や文字データの変換、画像データの調整などに係わっています。また、データベースサーバやファイルサーバの管理・運用もおこなっており、内容面とともにハード面でも、管理部文化財情報課と協力して、奈文研の情報システムを支えています。

データベースにおいては、情報の信頼性が大切です。種々の資料からデータの入力をおこなっていますが、資料そのままを入力するのではなく、参考文献にあたり、いろいろな辞書を参照しながらの作業となります。（埋蔵文化財センター 森本 晋）



データ入力作業風景